

# 水泳用具を市教委へ寄贈

## ビート板など

福山市のスポーツ振興の一助にと、食品卸業の中島商店(福山市御船町、中島良昭社長)が福山市

教育委員会に水泳用具を寄贈し、三十日、市役所で寄付受納式が行われた。

同社の中島基晴専務(37)が市役所を訪れ、福万建築教育長に目録を手渡した。寄贈を受けた福万教育長は「スポーツ振興に十分に活用したい」と話していた。

同社が今回寄贈したのはビート板十五枚と上半身トレーニング用のストロークブイ四十個(約四万円相当)。中島専務自身が現役のスイマーとして各種大会に出場している縁もあり、水泳用具の



目録を贈呈する中島専務(右)

寄贈となった。

同社ではこの四月から保命酒を材料としたアイヌやゼリーなど五種類の菓子を販売しているが、売上げの一部を費用に充てた。中島専務は「今後でもできる範囲でスポーツ振興のお役に立てれば」と話している。

寄贈を受けた用具は二日にローズアリーナに搬入され、早速利用できるという。一般のほか、体育振興事業団の事業等にも活用する予定。